問1	「消滅可能性都市」とは、少子化と人口減少が止まらず、存続が危ぶまれると指摘された896市区町村（全国の49・8%）を指す。民間研究機関「日本創成会議」が発表した。2010年からの30年間で、20～39歳の女性の人口が5割以上減少することが指標になっている。あなたが指摘された「消滅可能性都市」に住んでいるとしたら、どのような反論を考えるか。自治体が取り組むべきことと合わせて800字以内で述べよ。